

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966
<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



2015年4月1日号 Vol. 22

SL「やまぐち」号おもてなし作戦決行♪

3月22日(日)、今年も運行を開始したSL「やまぐち」号のおもてなし作戦を決行しました。

今回は、春らしくお花を片手に手を振ってお見送りしました。動物の着ぐるみも登場し、ちいさなお友達も集まってきてくれました。

来場して下さった先着50名のみなさんには心ばかりのお菓子としおりをプレゼント。おもてなしに参加して下さったみなさん、ありがとうございました。



SLに向かって 手をふるろう!

11時過ぎと17時過ぎに
白石地区内を通過します

沿線で、散歩中に、お宅から…
SLにむかって、元気よく、
笑顔で手をふるろう!
きっと、乗客のみなさんも
笑顔で楽しんでくれるよ♪
(※安全第一。線路に入ったりはいけません)

4月の運行予定日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



おいでませ
やまぐちへ!



元気に
手を振って



着ぐるみ
登場!

「ウォーキングマップ しらいし」が完成しました

社会体育部会のウォーキングマップ作成委員5名の皆さんが、平成26年度の地域づくり事業として、およそ1年をかけて「ウォーキングマップ しらいし」を作成し、3月15日に全戸配布しました。

白石地区住民の皆さん、健康づくりにウォーキングをしましょう!!

ウォーキングは誰でも、何時でも、何処でも簡単に取り組めるスポーツです。マップの表裏にコース案内、史跡紹介等掲載していますが、これらはほんの一例に過ぎません。その他、白石地区には訪ねてみたい所が数多くありますので「ウォーキングマップ しらいし」を参考にして頂いて、独自のウォーキング計画を創意工夫され、楽しみながら健康づくりに利用して頂ければ誠に幸甚に存じます。



ウォーキングマップ作成委員会
委員長 齋藤 和彦



ウォーキングマップ作成委員会	
委員長	齋藤 和彦
委員	窪 悌二郎
委員	松岡 途勝
委員	岡崎 吉治
委員	末繁 光二

ホームページからも
見ることができます。
ご活用ください。



地域づくり計画策定委員会開催

3月5日(木)、第5回全体会議を開催しました。これまで検討に検討を重ねてきた「住民アンケート」の設問すべてが承認され決定しました。いよいよ5月初旬には郵送する予定です。(アンケートは白石地区在住の18歳以上の方を対象に無作為に選ばせていただきお送りします。)みなさんのご意見が地域づくりへと繋がりますので、お手元に届いた際には是非ご協力くださいますようお願いいたします。また、委員会では、より多くの方の地域に対する思いをお聴きしようと「住民アンケート」に並行し「住民座談会(ワークショップ)」を4月25日(土) 13:30~白石地域交流センター2F講堂にて開催することにしました。

ご協力をお願いします!

第11回 さんじょうさねとみ 三条実美 ～西の京。舞い散る山桜～

何とええ季節になりました。さあ、いよいよ桜の時期であります!

今回は、今から150年ほど前。ここ山口の町で「花見」を楽しんだ京都の公家、三条実美のお話でございます。

文久3年(1863)8月18日、実美をはじめとする7人の公家(七卿)と長州藩を中心とする尊王攘夷派の勢力は、御所で起こったクーデターにより、京都を追われました。

失脚した七卿は、再起を図るため長州藩へと身を投じ、まずは三田尻御茶屋(防府市)に滞在。後に、一行のひとり沢宣嘉が挙兵のため長州を離れると、残る6人の公家は山口へ移転しました。

彼らは、事あるごとに藩主毛利敬親らと国事を論じ、時には酒を酌み交わしました。また、石州街道・萩往還を往来。山口大神宮(滝町)・仁壁神社(三の宮)・氷上山真光院(大内氷上)など、様々な場所を訪れ、山口には1年余り滞在しました。



三条実美

文久3年(1863)11月29日。実美は大寧寺(長門市深川)にある先祖公頼の墓に参拝しました。ここは、天文20年(1551)、陶晴賢の謀反によってこの地で自刃した、大内義隆が眠る場所でもあります。

当時、公頼は、義隆を頼り山口に滞在していました。彼は戦乱の巷となっていた京都から、重要な古文書を保護するため、勅命により下向していたのです。しかし、その文書も反乱によって町が焼き払われたため、灰となってしまいました。

その後、義隆を追って山口を逃れた公頼は、途中、陶軍によって命を奪われたのであります。

元治元年(1864)桜の頃、実美は大佛寺(朝倉町)の裏にある岩戸山で山桜を楽しみました。そこで彼は次の歌を詠みました。

「白雲と見つつ登れば岩戸山

桜の花のかげに来にけりー」

300年ほど前、先祖も訪れた西の京、山口。白雲と見紛うような山桜。その花の下で、彼は何を思ったのでしょうか。

風に舞い散る花びらを、ひとりしづかに眺めながら。



「明治維新150年記念事業」新メンバー募集! 実行委員会からのお知らせ

当会は「明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛を育み、地域の連帯感や絆を深める」ことを目的に活動しています。

今後についても、白石地区住民の皆様のご意見を基に各種事業を展開して参りたいと思います。そこで、今般、新メンバーの募集を行います。歴史に興味をお持ちの方、是非ご応募ください。お待ちしております!

【お問い合わせ先:

白石地区地域づくり協議会(083-941-5959)】

明治維新150年記念講演を開催しました 「文久三年の高杉晋作」

3月15日(日)、松前了嗣氏を講師にお招きし、白石地区地域交流センターにて開催しました。晋作の様々なエピソードについて「当時このような会話がされたのでは…」ということをお話していただきました。大変たくさんの方にお越しいただき大盛況でした。



法定外公共物等整備事業を行いました

新天街町内会地において水路浚渫工事を行い、水の流れがスムーズになりました。

